

# KSN 通信 VOL.33

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。先月の 20 日に大寒を迎え、とても寒い日が続いています。大寒の日には、家のベランダに、分厚い氷が出来上がっていました。でも、一方では、チューリップのかわいい芽が少し顔を出しているのを発見。どうやら土の中では春に向けて準備が行われているようです。早く暖かくなって欲しいですね。

## KSN ニュース

### イチゴが収穫最盛期を迎えています！

当社で生産した炭の用途開発の一環として、ハウス栽培施設で、土壌改良剤など主に農業資材としての利用用途の研究を実施しています。

現在、そのハウス施設の中で収穫の最盛期を迎えているのがイチゴです！今年栽培しているのは紅ほっぺと章姫。甘酸っぱい香りがハウスの中に広がっています。

本栽培施設では、炭を農業資材として利用する他に、環境にやさしい農業を目指して、雨水を利用する、養液を循環利用し排水をほぼ 0 に抑える、化学農薬の利用を抑えるなど、さまざまな工夫をしています。



炭を利用したイチゴ栽培



受粉のためにミツバチを導入



パック詰めしたイチゴ

## リサイクルニュース

### 日本の環境負荷は世界平均の 1.5 倍 ～年間 1380 万+ の食品廃棄物が主要因～

日本の生活を支えるためには、地球が 2.3 個分必

要になる——。「エコロジカル・フットプリント・レポート 日本 2009」でこんな結果が出たようです。

エコロジカル・フットプリントとは、1 人の人間が必要なものを生産・廃棄するために必要な土地の面積を表した数値。地球環境が本来持っている生産力や廃棄物の収容力を基に計算すると、日本の生活を支えるために必要な面積は地球 2.3 個分になるそうです(右図)。



フットプリントの 67% を家計消費活動が占めていて、さらに家計消費活動の内訳を見ると、食料が 36% で最も大きい割合を占めていました。食べずに廃棄する量は年間 1380 万 t に達しており、まずは廃棄量を減らすことが効果的だとのこと。

すぐには目に見える効果は期待できないかもしれないけれど、私たちでもできること、ありそうですね。

## ちょこっとニュース

### ゴミがアートに

胴体は運動靴で羽はしゃもじ、尾っぽには歯ブラシ。出来上がったのはニワトリ(右写真)。素材は、いずれも川で拾ったゴミを利用したもの。

東京都で開催中の「ゴミと I T とわたし」で展示されている作品です。

ゴミも見方を変えれば、アート素材になり、それらは、無邪気で愉快的なアートとして、無条件に見る人の気持ちを明るくさせてくれます。資源を再利用し、それらを社会に効果的に還元するという観点は、私たちも見習いたいところです。

